

# 2016年鳥取県中部地震調査報告 ー岡山県北部の被害状況の報告ー

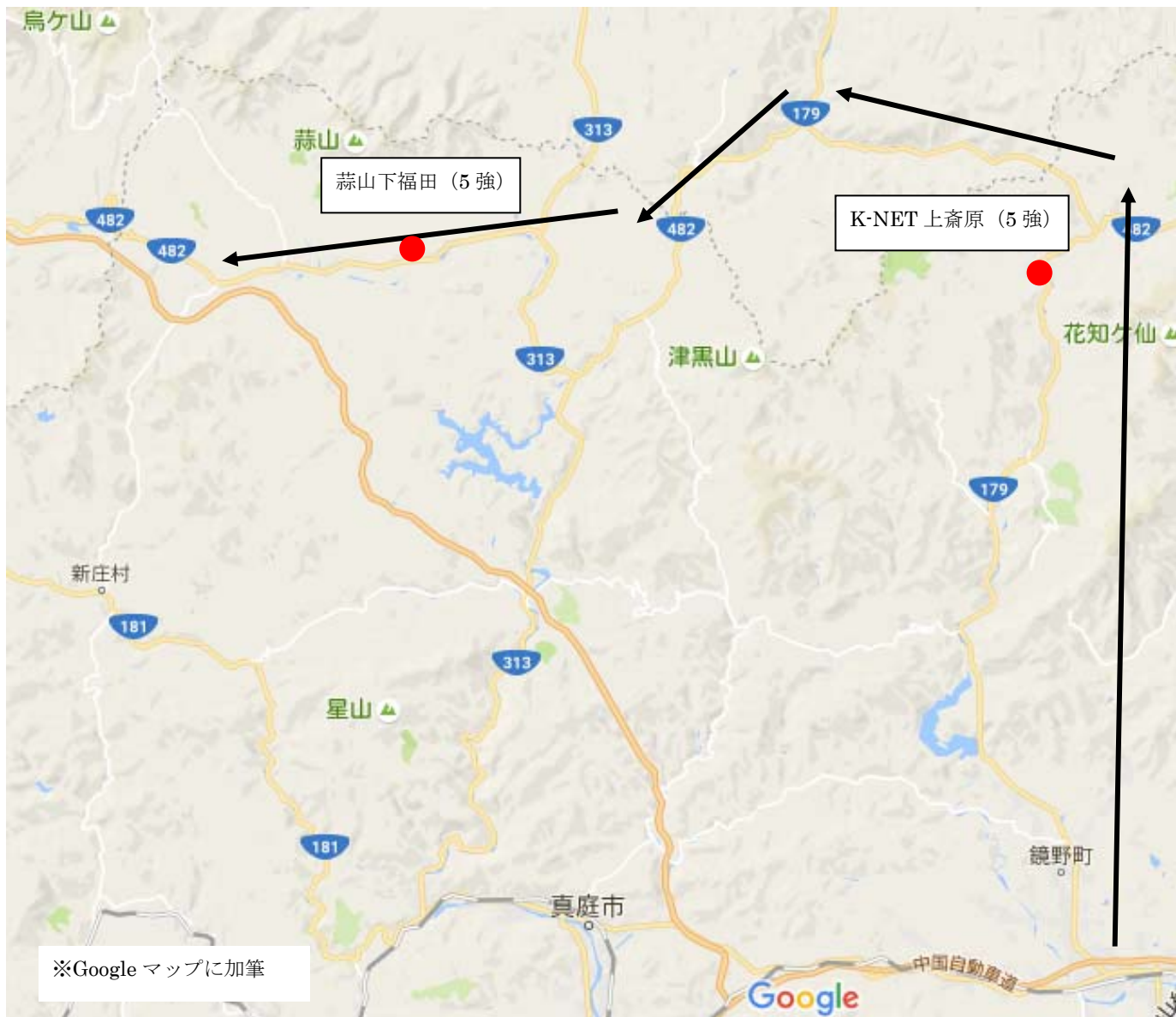
2016/10/23 (10/25 一部修正)

岡山理科大学工学部建築学科 准教授 小林正実

## 1、調査概要

- ・調査日 2016年10月23日
- ・調査地域 岡山県北部（鏡野町、真庭市蒜山）  
本震時の震度 鏡野町上斎原（K-NET OKY015） 計測震度 5.1（5強）  
真庭市蒜山下福田 震度 5強  
真庭市蒜山上福田 震度 5弱  
真庭市蒜山下和 震度 5弱
- ・調査項目 役所からの聞き取りによる被害状況の概要の把握  
地震計周辺の被害状況の調査  
マスコミ報道のあった建物被害の詳細調査  
ルートに沿っての被害状況の調査

## 2、調査ルート



### 3、鏡野町

#### (1) 鏡野町役場

くらし安全課を訪問した。

10時に非常態勢を解く旨、電話連絡されているところで、ようやく一段落という感じであった。

町全体の被害状況をまとめたものを、持っておられたが、まだ、見せられないとのこと。

被害状況は、おおむね、マスコミ報道ですべてのようであり、町全体で、公共・民間を合わせて、瓦のずれ等の軽微な被害が、10棟程度と思われる。したがって、震度5強の割には、被害は極めて軽微という印象を持った。

ただ、10/23山陽新聞記事の倉庫の倒壊は、把握していなかった。

#### (2) 奥津温泉

瓦の落下の被害が多数あった、町営住宅が立地する。それ以外の建物で被害を受けているものはなかった。

#### (3) 上斎原

##### ・K-NET 上斎原



上斎原振興センターの裏に設置されている



#### 地震計

後ろが高さ6m程度の崖で、崖下は川であり、設置場所として適当か？

### 隣接建物の被害 1

仕上げ材の剥落は、震害と思われるが、柱のクラックは震害かどうか確認していない



### 隣接建物の被害 2

仕上げ材の小剥落・クラック



### 周辺の墓石の状況

転倒や回転している墓石や転倒している灯籠がいくつかあった。前日に修復作業をされていたとのことで、もっと多く転倒していたと思われる





### 周辺の木造住宅の状況

全く無被害で、住民の方に聞いても、瓦の  
ずれ等の軽微な被害も、どの住宅でも、  
起こっていないとのこと



### ・屋内ゲートボール場

K-NET 上斎原の近くにあり、何枚かのガラスが割れる被害が起きている。



屋内ゲートボール場

### ガラスの被害 1

左下のガラスが割れてはずされており、  
応急処置として板が張られている



## ガラスの被害2

左側2枚は既に修復済で、右端のガラスのみ割れたままになっている



## (4) 人形峠環境技術センター

核廃棄物の処理や解体の研究施設である。本震時は、電源設備が異常を検出し、非常用発電機2基が起動したが、1時間の点検の後、通常電源に切り替えた。平常通りの運営がされているようであった。隣接する展示館も開館していた。

人形峠環境技術センター



隣接する展示館



#### 4、鳥取県三朝町南部

岡山県内では、建物被害がほとんど見られないが、県境を越えると、様相が変わってくる。屋根の応急復旧のブルーシートや、民家・土蔵の土壁剥落被害などが散見される。

##### 179号線沿いの集落

屋根の応急復旧のブルーシートが見られる。石垣が崩れているところもあり、集落内の道路を一部通行止めにしていた。



#### 5、真庭市蒜山

##### ・真庭市の被害概要

HP に公共建物についての被害概要の資料がある。建物被害は、10棟以下であり、極めて軽微である。

##### ・木造建物の瓦のずれ

県境付近の建物である。瓦のずれの被害は、県内で10～20棟程度、起こっているようであるが、本調査中に確認できたものは、本建物1棟であった。また、真庭市では、被害が確認できたものは、本建物のみであった。





- ・真庭市役所蒜山振興局（震度計：蒜山下福田 設置場所）

震度計は、建物の北西端と車庫との間の屋外に設置されている。当日は、選挙の投票所として使用されていた。被害は見当たらなかった。



周辺の木造住宅の状況：

本調査の際は修理済であったようであり、岡山県危機管理課からの聞き取りによれば、数棟で、屋根にブルーシートがかけてあったとのこと



## 6、まとめ

- ・岡山県内では、2か所で震度5強が観測されており、その周辺を中心に、被害状況の調査を行った。
- ・建物被害は、いずれも軽微であり、かつ、数も20棟程度と思われる。震度5強の割には、被害は極めて軽微という印象を持った。
- ・核廃棄物の研究施設である人形峠環境技術センターは、平常通りの運営がされていたようである。
- ・岡山県内は、復旧が早く、本調査前に修理済のところが多く、正確な被害状況を把握するには、役所（地方気象台も調査していた）からの聞き取りが必要と感じた。
- ・県境を越えて、鳥取県三朝町に入ると、屋根の応急復旧のブルーシート、民家・土蔵の土壁剥落被害、石垣の被害などが散見され、三朝町南部では、岡山県側より大きな被害が起きている。